

県立病院の存続と充実を求める要請書

県民医療の向上に努力されている貴職に敬意を表します。

さて、県行財政改革推進本部は、3月28日、県立病院改革審議会の答申を受けて県立病院と診療所6ヶ所にかかる「当面の具体的取り組み」を公表しました。

しかし、県立病院等の統廃合は、県民医療の低下につながるものであり、県議会における十分な審議の上での県の方針でなければなりません。

私達は、県民医療と地域医療の在り方を議論せず、病院の存廃だけを議論した審議会に大きな不信感を持たざるを得ません。また、県行財政改革推進本部が、地域の医療に対する説明責任を果たさず取り組みだけを発表し、多くの県民を不安に陥れていることに怒りを禁じ得ません。

福島県は、高齢化率が高く、山間地を多く抱え、豪雪地帯も有しています。また、交通機関が発達したとはいえ、県立病院や公的医療機関の果たす役割は極めて大きなものがあります。

つきましては、下記内容について要請しますので誠意ある対応をお願いします。

記

- 1 県立病院の統廃合をしないこと
- 2 県立病院の役割を明確にすること
- 3 県立病院を充実させること

2005年5月19日

福島県知事

佐 藤 栄 佐 久 様

地域医療を守る福島県民会議

議 長 住 谷 圭 造